

令和7年度

クレドアワード

知事賞 (3件)

プロジェクトF賞 (1件)



知事賞

仕事の進め方改善部門	DX嫌いによるショートコミック連載	道路保全課	主査	山内 理瑚
		道路保全課	主任	中西 直之
		土木管理課	主任	前川 圭輔
自由テーマ部門	兼業による路線バス運転業務の応援	森づくり課	主事	桑原 翼
		奥越土木事務所	主査	辻 利雄
仕事の進め方改善部門	保健所発！地域医療介護空床の一元管理	坂井健康福祉センター	所長	高木 和貴
		坂井健康福祉センター	主事	檜皮 咲季
		坂井健康福祉センター	主事	三井 裕美子
		坂井健康福祉センター	課長	室田 美幸
		DX推進課	主査	西田 一樹
		DX推進課	主事	八木 香保里
		地域医療課	企画主査	田中 修平
		長寿福祉課	企画主査	堀 祐貴

プロジェクトF賞

プロジェクトF部門	県内初、子連れ投票キャンペーンを実施！	市町協働課	総括主任	田中 有希子
		市町協働課	主査	橋本 泰樹
		市町協働課	主事	須谷 元
		市町協働課	主事	古川 優介
		市町協働課	主事	渡邊 健太郎

DX嫌いによるショートコミック

(1)取組概要

◎全庁的にDXが進む中、部内には「でじたる難民」(※PCが苦手な方)が意外と蔓延^{はびこ}っている

⇒でじたるのQ&Aを、**ショートコミック形式で連載実施**(毎週火曜と木曜、部内チャンネルにて)

◎ショートコミック1話で一問一答とし、5分程度で内容がマスターできるように**創意工夫**

⇒誰も取り残さず、「**でじたる難民**」からの**脱却!**

(2)成果

◎コミックの**連載は全75話!**

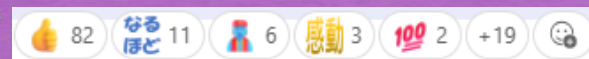
◎それぞれ**常時100リアクション**を超えるコンテンツに!

⇒**実はみんなDXに興味深々 or 隠れ難民多め...**?

◎読者(部内職員)の声、「グループ内での会話が増えた」、「これがきっかけで色々使い出した」、

「毎週楽しみ」、「使ってみると意外と簡単」等、**現場からのうれしい声多数**あり!

◎部内では苦手意識が減り、積極的にDXなど**効率化**に取り組む職員が増加!



チームズには災害等、緊急を要する情報も投稿されます。災害は土日、夜中関係なく発生する可能性があります。ポケーっとしたい気持ち、とてとても分かりますが土木職員ということで、最低限必要な連絡体制は確保しましょう。

設定(歯車マーク)ををクリック通知

必要な連絡体制を確保した上で心の負担にならないよう各自で通知オフ等の設定をしましょう

(3)アピールポイント

◎DX嫌いの作者が自ら学びながら**挑戦**し、コストゼロで実現!

◎部内全体でDXが**大盛り上がり**

◎「いいね! チャレンジ👍」のおかげで、**部外からも「見たい」の声殺到??**

◎いまさら聞けないことも**解決**(かゆいところに手が届く)

◎連載継続を望む声⇒**ほぼ100%**(※アンケート結果)



番外編たまに連載

番外編!
でじたる難民からの脱却 (その他あぶり編) ばーと3

兼業による路線バス運転業務の応援

(1) 取組概要

- ・運転士不足の中、路線バスの便数維持につなげるため、**2名の県職員が兼業によりバス運転業務に従事**
 - 職員① 週3日程度、京福バス学園線等の朝1便を運行後、遅出勤務により県庁で勤務
 - 職員② 毎週土曜日の半日程度、京福すまいるバスを運行
- ・県職員が兼業により民間バス事業者の運転業務に従事する事例は **全国初！！**

(2) 成果

- ・運転士不足により路線バスが減便となる中、**路線の維持に貢献**
- ・兼業を含めた県・市町の支援策や事業者の運転士確保の努力もあり、R7.4.1には、前年度に減便となった路線のうち**4路線11便の復便を実現**
- ・全国的にも珍しい兼業の事例がマスコミ等に取り上げられることで、**路線バスの将来に向けての明るいニュース**を提供



(3) アピールポイント

- ・県職員としての通常業務に加えて、**プライベートの時間を活用して**バス運転業務に従事し、**路線の維持に貢献**
- ・乗客の命を守るという**責任の重いバス運転業務**について、**県職員の業務との両立を実現**
- ・運転業務従事に当たり、**大型二種免許を新たに取得**
- ・県職員の兼業によるバス運転業務は、**全国的にも先進的な事例**



保健所発！地域医療介護空床の一元管理

(1) 取組概要

ビジョン 「高齢者がどんな状態になっても住み慣れた地域で過ごせる坂井地域へ」

(課題) ・多職種によるその人の最良の居場所探しに時間がかかっている

・電話での入退院やサービス調整に職員が疲弊

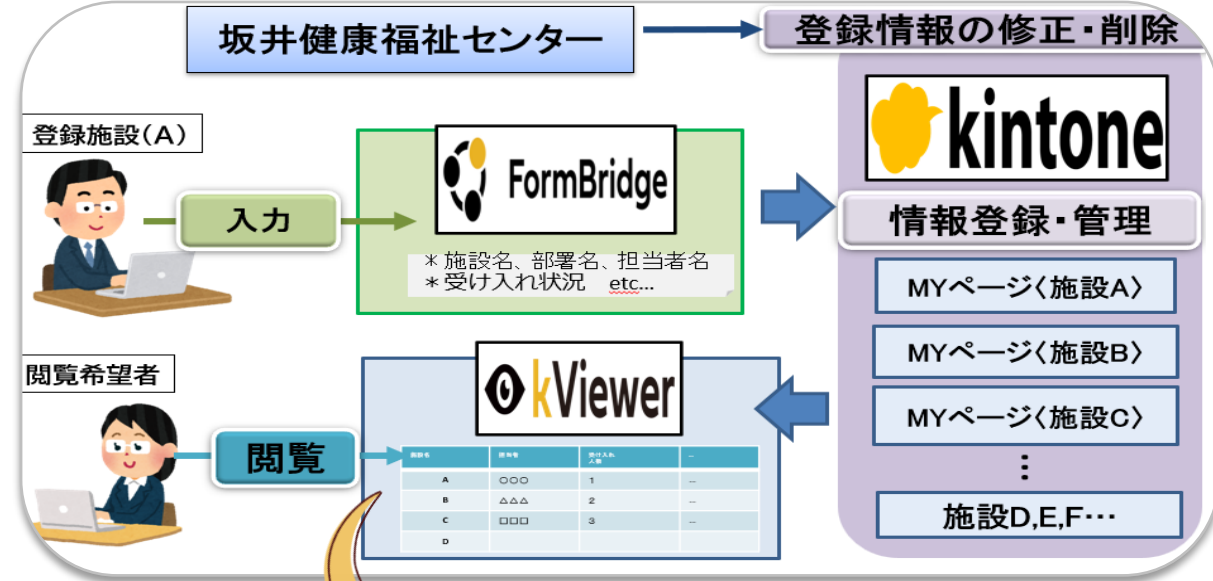
(解決策) 保健所が台帳管理ツール“kintone”を活用
病床や介護サービスの空き状況が見える化
新システム「つながるさかい」を開発

(2) 成果 (R7.8月 ユーザー調査)

- **24時間、いつでも検索。数時間の調整が数分に**
- 利用者にあった施設選びの容易化
- 負担軽減 & 多職種連携・新たな絆も強化
- **管外機関も「県内全域拡充」を希望**

(3) アピールポイント

- ・“kintone”活用でセキュリティーや**予算0円**をクリア
- ・**AIによる自動更新通知**で簡単管理
- ・官民連携(現場、保健所、本庁各課)の専門性を生かした**協働成果物**



事業所名	空き状況(人数)	特色
A病院	○ (2人)	今週は女性個室に2名空きあり
Bデイサービス	○ (8人)	お好きな入浴剤で、足湯ができます
C訪問看護ステーション	△	月、水は1名受入れ可 男性スタッフ、PTいます

県内初、子連れ投票キャンペーンを実施！

(1) 取組概要

子育て世帯等の投票率向上や、将来の有権者となる子ども達に選挙を身近に感じてもらうため、**県内で初めて**、参院選や知事・県議補選、衆院選の期間中、「**子どもと投票所へGO!**」キャンペーンを実施。

- ・有権者と一緒に投票所(期日前などを含む)に訪れた18歳未満の子どもへステッカーを配布
- ・ステッカーの二次元コードをスマホ等で読み取りアンケートに回答いただいた方から抽選でオリジナルグッズを進呈(即時抽選)



オリジナルグッズ

配布用ステッカー

(2) 成果 応募総数 10,835件(参院選) 9,169件(知事選) 9,984件(衆院選)

- ・10歳(小学校4年生)未満の応募が8割超！
- ・子連れ投票のきっかけになったと思う回答が**9割超!!**

(3) アピールポイント

全国的な投票率の減少に歯止めをかけるための第一歩として、市町選挙管理委員会と一致団結し、全県下でキャンペーンを展開

(4) ここがプロジェクトFだ！

今回のキャンペーンを機に、今後の市町選挙への波及が期待され、県と市町が協力して、**選挙を身近に感じる機運を醸成**します！

The poster features the title '子どもと投票へGO!' in large, colorful letters. Below the title, it says '7.4金 ▶ 7.20日' and '有権者と投票に訪れた18歳未満のお子様にも、もちろんオリジナルステッカーをプレゼント!' followed by 'さらに！抽選で100名様にオリジナルグッズが当たる!!' and '県内すべての市町の投票所(期日前投票所、共選投票所を含む)でもらえるよ!'. The poster is divided into four steps: STEP 1 (お母さんとお子さん一緒に投票所へ), STEP 2 (ステッカーをゲット!), STEP 3 (二次元コードを読み取り、アンケートに回答), and STEP 4 (その場で抽選！結果を確認)。A QR code is in the top right corner. At the bottom, there are images of the original goods and a '注意事項' (Notes) section.